

まほろば



2018.2
第198号

「クリティカルパス大会 ～電子カルテにおけるクリティカルパスの記録と各職種の連携～」

パス（クリニカルパス）とは、様々な職種が連携を取り合い、患者さんに行う治療や検査・指導等の計画をまとめた治療計画書です。パスを用いるチーム医療ではパスの達成度を全スタッフで共有するために各職種の記録を共有する必要があります。

そこで、1月17日に開催した第9回目のパス大会では、各職種から記録についての現状と問題点を発表し、ディスカッションを行いました。其々の職種の電子カルテ記録方法・その見方・パスでのつながりや、パスをどのように共有すれば効率的な業務となって患者さんに円滑に関われるか等、今後の業務やパス作成・改訂の参考になりました。

これからも、安全で良質な医療の提供と患者さんが安心して治療できるよう新規パスの作成やパスの改訂を行い、パスを活用し各職種が専門性を発揮して患者さん一人ひとりの治療を支援していきます。

パス委員 外来看護師長：小笠原 麗子



(パスの記録についての発表)



(白熱したディスカッション)

医療安全研修会を開催

先日の医療安全研修に出席して頂いた方、お忙しい中わざわざありがとうございました。皆さんの中にも慢性的な腰痛持ち、またはギックリ腰等の腰痛症を経験された方がおられると思います。私も仕事柄、腰痛には常日頃悩まされます。年齢を重ねるに従って腰痛発生の頻度も増してきました。腰だけを曲げて床から重い物を持ち上げる、トランスファーで抱きかかえて垂直方向に持ち上げてしまう等腰痛発生にはそれなりの原因があります。それらは正しいやり方に比べ1～2動作分早くできてしまうので、急いでいる時などはついやりがちです。パワーポジションで物を持ち上げる、トランスファーは密着してかつ“てこの原理”を利用し水平方向に移動させる等、腰にやさしい動作・姿勢

に気を付けて頂ければ腰痛のリスクはかなり減少します。トランスファーに関しては、また機会があれば皆さんと一緒に実際に体を動かしながら意見交換できたらと思っています。

運動療法主任：松本 知也



NST・褥瘡委員会 勉強会の開催

NST・褥瘡委員会では2ヶ月に1回の頻度で、各部署が持ち回りで年間6回の勉強会を開催しています。今回はリハビリテーション科が担当し1月16日（火）にリハビリテーション室を会場に開催されました。急遽開催場所を変更するというハプニングがあり、参加された皆様には大変ご迷惑おかけしました。

勉強会は講師に株式会社モルテンの千葉豊氏をお招きし、『QOLをベースにしたポジショニング』と題してご講演いただきました。ポジショニングのポイントや対策を資料だけではなく実技を

交え、視覚的にわかりやすく説明していただきました。特に印象に残ったのは先生が講義の中で何度もおっしゃっていた「安楽が大事」ということばでした。楽な姿勢を保つことが、結果的に褥瘡予防につながる。私たちが普段接しているのは患者さんであり、人であるという当たり前のことを再度考えさせられた有意義な時間でした。また、終了後にも日々の臨床で困っていることや疑問点、質問にもアドバイスをいただき、すぐにでも臨床に活かすことが出来る実践的な内容だったと思います。

言語聴覚士：三浦 大毅



< 講義の様子 >



< 実技の様子 >

東北静脈経腸栄養研究会に参加して

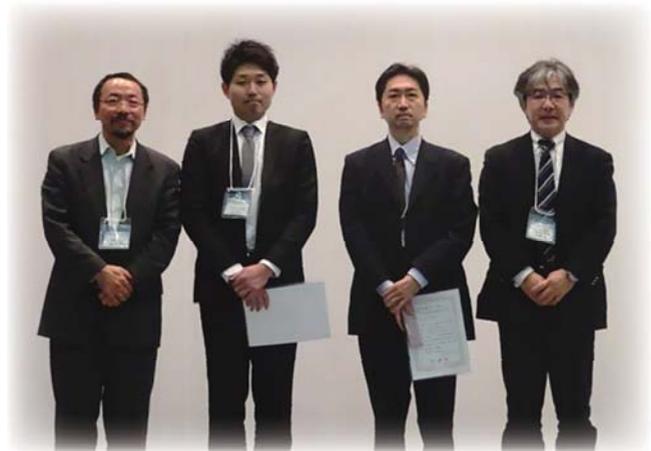
平成 29 年 12 月 10 日、第 32 回東北静脈経腸栄養研究会が弘前で開催されました。医師、薬剤師、栄養士など幅広い職種から発表がありました。

当院乳腺外科の櫻庭弘康医師が「乳癌手術における術後悪心嘔吐に対する術前炭水化物負荷の影響」について発表し、優秀演題賞を受賞されました。術前の経口補水療法は術後の悪心嘔吐を改善させる可能性があります。当院でも乳腺外科などで術前に高炭水化物飲料を摂取する炭水化物負荷を導入しているため、術後の悪心嘔吐への影響について検討した結果を報告されました。

また、今回「リハ栄養」についての発表もいくつかあり興味深い内容でした。低栄養な状態でリハビリを行っても十分な効果が得られないため、リハビリを行う上で栄養管理はとても重要です。

リハ栄養を行うためには多職種で取り組む必要があるため、今後NSTを通し当院でも実践していきたいと考えています。

栄養士：滝川 桃子



(右から 2 番目が櫻庭医師)

研修医便り

初期研修医 1 年目の和島将太と申します。出身は青森県です。研修が始まってからもう少して 1 年が経とうとしています。日々充実した研修を送り、あっという間の 1 年間だったと感じています。

指導医の先生をはじめ病棟や外来のスタッフの方々、2 年目の先輩方や同期に助けてもらいながら、医療者として多くのことを毎日学ばせてもらっています。これまで当病院と弘前大学病院、愛成会病院で研修しました。研修が始まったころに比べて病院での仕事にも慣れてきました。自分は研修 2 年目も国立病院で研修する予定で、これからも微力ですが皆さんの力になれるよう精進していきたいと思います。まだまだ未熟ものであり、たくさんご迷惑をおかけすると思いますが精一杯努力していきたいと思いますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



臨床研修医：和島 将太

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2018年2月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	横田貴志	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
		下山亜矢子	森本武史	森本武史	-	森本武史
		森本武史	石岡佳子	-	-	-
消化器・血液内科		松木明彦	佐竹立	佐竹立	松木明彦	佐竹立
		山口公平	山口公平	松木明彦	山口公平	山口公平
		佐藤年信	飯野勢	佐藤年信	佐竹美和	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	飯野勢	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	佐藤啓	佐藤工	杉本和彦
		佐藤啓	岡本剛	弘野浩司	岡本剛	弘野浩司
		梅津英典	-	-	-	梅津英典
外科		柴田滋	山名大輔	柴田滋	山名大輔	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	黒瀬理恵	秋元博之	秋元博之	リウマチ外来	秋元博之
		佐々木規博	佐々木規博	佐々木規博	黒瀬理恵	黒瀬理恵
		飯尾浩平	太田聖也	飯尾浩平	一般外来は休診	飯尾浩平
	午後	-	-	-	-	休診
脳神経外科		-	-	木村正英	-	-
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	●予約	●手術/検査	●予約	●手術/検査	●予約
泌尿器科	午前	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		田中加奈子	丹藤伴江	丹藤伴江	●妊婦健診	湯澤映
		湯澤映	淵之上康平	田中加奈子	(一般外来休診)	淵之上康平
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		西澤尚徳	西澤尚徳	休診	西澤尚徳	西澤尚徳
		葛西崇	-	-	-	-
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	-	-	川口英夫 (午後)	-	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		-	-	-	今充	-

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

退院の 春の光を いっぱいに

(チロル)

岩木山 木々の枝に 寒スズメ

(むらかみみよこ)

※掲載作品は広報誌編集委員会にて選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>